

# 創立百二十周年記念事業募金趣意書

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃、本校の教育活動に對しまして、格別なるご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。さて、明治十三年（一八八一年）に公立岩手中学校として発足した盛岡第一高等学校は、平成二十二年（二〇一〇年）に創立百二十周年を迎えることになりました。「白聖校」の名称のもと一世紀を優に超える輝かしい歴史とともに卒業生も三万名に迫り、常に新しい時代を拓き、各界に多くの人材を輩出しその名を全国に知られてまいりました。また、「白聖精神」と言われる盛岡中学校以来の良き伝統は、「忠実自強」「質実剛健」の気風をもつて今日まで脈々と伝えられております。

この度、創立百二十周年の節目に、盛岡第一高等学校の更なる発展を期し、同窓会、PTA、振興会、学校による「岩手県立盛岡第一高等学校創立百二十周年記念事業推進委員会」を組織し、教育環境整備事業の一環として、現在地に弓道場を新築し、また、白聖記念館の大規模な改修をすることといたしました。

つきましてはこの趣旨にご理解とご賛同をいただき、寄附をお願いいたしたく、出費多端の折り、誠に恐縮でございますが、本会の事業達成のため特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

- 一 募金目標額 一億円
- 二 募金額 一口一万円  
大正卒、昭和三十八年卒 一口以上  
昭和三十九年卒、平成五年卒 二年にわたる分割を可とし二口以上  
平成六年卒以降 一口以上
- 三 記念事業の計画ならびに資金使途計画
  - ア 式典・祝賀会 五七五万円
  - イ 講演会・ガラコンサート 二九八万円
  - ウ 対外部活動交流 二四〇万円
  - エ 記念誌「十年小史」発行 二五〇万円
  - カ 教育環境整備（弓道場新築、白聖記念館改修等） 四、五〇〇万円
  - キ なお、新弓道場、白聖記念館改修部分は工事終了後、岩手県に寄附いたします。
  - ク 白聖振興会基金 三、〇〇〇万円
  - ク 総務費 一、一三七万円
- 四 募金期間 平成二十一年五月一日から平成二十三年三月三十一日
- 五 納入方法 郵便振替、銀行振込を主としますが詳しくは別添の資料をご参照下さい。

平成二十一年五月吉日

岩手県立盛岡第一高等学校  
百二十周年記念事業推進委員会  
会長 安達孝一  
(白聖同窓会会長)  
副会長 村井軍一  
(募金専門委員会委員長)  
副会長 千葉研二  
(校長)

各位

付記

新弓道場と改修白聖記念館は岩手県に寄附する予定で、募金総額のうち、その工事経費三、六三二万二千円分は免税となります。百二十周年記念事業推進委員会に寄附していただきますと、地方公共団体即ち岩手県に寄附したと同様の扱いとなり、税法上の優遇措置が適用されます。

一 法人の場合  
寄附した金額を、損金として申告しますと、寄附した法人の各事業年度の所得金額の損金に全額算入されます。

二 個人の場合  
免税対象となるのは、原則として二万円以上、また、大口寄附は十万円以上とし、いずれの場合に対しても、免税となる旨が記載された領収証を発行します。

三 詳しい募金方法につきましては、別紙の「募金の振込み要項」を参照願います。